

VOICE

地域にかかわる皆さまの声

令和2～4年度に開設したWEBサイト

「ONE NAGANO.NET 長野地域版」にお寄せいただいた
長野地域における復興、防災等の取組についてまとめました。
皆様の投稿から見る復興のあゆみをご覧ください。



「ONE NAGANO 長野地域版」
オリジナルキャラクター
「かえるむ」

令和4年度（2022.4～2023.3）



2022.04.25

スプリング 50代 男性

8回目の長沼地区住民集会が開かれました。千曲川の堤防強化では大型ブロックが敷き詰められるなど、工事が進んでいるようです。

新しい児童センターも今月開所し、ハード面の復興の形が見えるようになってきました。

ソフト面も含めた課題が日々解決され、より生活が安定するよう引き続き応援します。



2022.06.30 まる 女性

7月24日（日）、長野市赤沼にて復興イベント「ながとよマルシェ」が開催されます！

被災地の復興支援や地域の応援を目的として色々な企画が行われるようです。

チャリティグッズ・地域特産物の購入や、飲食ブースの利用を通して災害支援ができるほか、演奏・演舞ステージや防災・減災ブース、お子さんたちが遊べるブースやガラポン抽選会など楽しい企画も盛りだくさん！ぜひみんなで遊びに行きましょう！

★「ながとよマルシェ」

日時：令和4年7月24日（日）10:00～16:00

会場：デリシア・ユーパレット赤沼店様駐車場（臨時休業中）

（長野市赤沼2399-1 アップルライン国道18号沿い豊野駅から徒歩12分）

主催：ながとよマルシェ実行委員会さん（事務局：災害支縁チームアッシュさん）

※売り上げの10%は長沼・豊野地区住民自治協議会へ寄付されるそうです！

2022.07.05 KAPPA 女性



長野県庁1階のロビーに、「ゼロカーボンさみっと2022」関連の展示と合わせて「治水 ONE NAGANO」の展示を見つけました。(かえるむさんも展示されていました)

気候変動による水害リスクや「流域治水」への取り組み、環境問題（ゼロカーボン）、ONE NAGANO について学ぶことができ、大変勉強になりました。

7月8日（金）まで展示されているということですので、たくさんの方に見ていただきたいと思いました。



2022.08.02 ちすいさん 男性

7/29(金)～7/31(日)に、長野市リサイクルプラザで開催していた「ゼロカーボンさみっと2022」に行ってきました。「治水 ONE NAGANO」のコーナーに「ONE NAGANO.NET 長野地域版」のコーナーもあり、復興・防災の情報やアルクマくん、かえるむさんを発見しました。

環境問題と併せて、治水や防災についても学ぶことができ非常に勉強になりました。環境問題と災害の関連性について結び付けて考えたことがあまりなかったため、気候変動が災害・水害リスクにも影響を与えていることなどについて知ることができて良かったです。



2022.08.18 よみガエル 女性

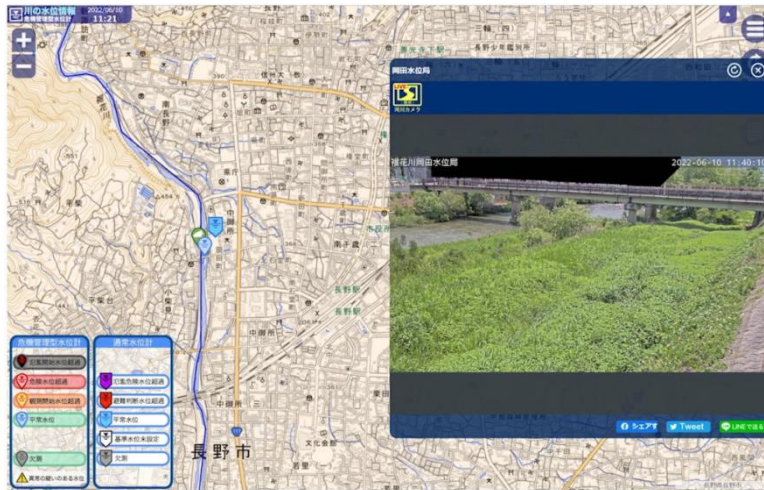
長野地域振興局企画振興課にて、この「ONE NAGANO.NET 長野地域版」のキャラクター「かえるむ」のクリアファイルを製作しました。

オモテ面はかえるむのイラスト、ウラ面は被災状況や復興支援の取り組みについて記載しており、学びに使える1枚となっています。

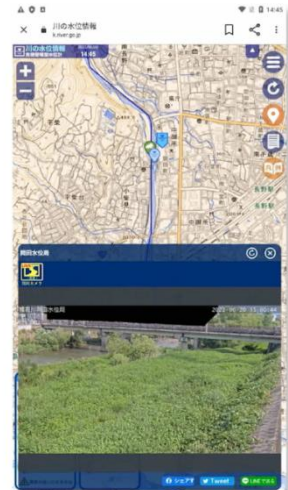
今年度、小～中学生のみなさんを中心とした出前講座やイベント等の機会を通じて活用していきます！

2022.08.23 RAIN 男性

パソコンによる操作画面



スマートフォンによる操作画面



現在の河川の状況はおちついていますね

長野建設事務所が先日公開されていた、「逃げ遅れゼロ実現に向けた河川情報」の広報動画を観ました。

<https://www.youtube.com/watch?v=VGKrYPmhNzA>

河川カメラの映像や測定水位など、今はスマホですぐに分かるようなシステムがあるのですね。

水害による逃げ遅れ、孤立や人的被害を減らすための流域治水の取組とのこと。

かなり詳細な情報まで調べることができるようで、非常に勉強になりました。

大雨の時など、気になった際に活用してみたいと思います。

15:35 4G 95%

市民防災の日 (56災害) ... city.suzaka.nagano.jp

須坂市
SUZAKA CITY

トップページ > 最新情報 > 市民防災の日 (56災害)

市民防災の日 (56災害)

宇原川土石流災害（昭和56年8月23日）で亡くなられた方のご冥福を祈るため、正午から1分間の黙とうをささげます。それぞれの家庭、職場などでも黙とうをお願いします。

- ・ [宇原川土石流災害 \(昭和56年8月23日\)](#)

(最終更新日：2022-08-05)

[二つ前へ戻る](#)

ツイート いいね! 0 シェアする LINEで送る

キーワードから探す

キーワードを入力してください

検索

2022.08.23

スプリング 50代 男性

今日(8月23日)は須坂市の市民防災の日。

約40年前の昭和56年の今日、台風による宇原川土砂災害が発生して10の方が亡くなられ、大きな被害を受けました。

異常気象で豪雨災害などが多発する近年、過去の災害を学び、災害から身を守る術を皆で伝えていくことは改めて大切だと思いました。



2022.08.24 waco 女性

「防災メモリアル地附山公園」に遊びに行ってきました。

長野市内から志賀高原にかけての眺めに癒されつつ、アスレチック遊具で遊べる素敵な公園です！

この公園は、昭和60年7月26日に発生した地すべり跡地を利用して、公園の名称は地すべり災害を忘れないようにと名付けられているそうです。

東日本台風災害もたくさんの人の力で復興が進んできましたが、災害を忘れないこと、次世代に伝えていくことはとても重要なことだと感じています。

2022.08.25 ヤマノ 女性



8月11日（山の日）に開催された、「被災地長沼復興大作戦！米澤家で麦と遊ぼう！」というイベントのようすです。

長沼の復興活動を行っている、Hope Apple さん、（一社）しなの長沼・お屋敷保存会さん、GreenStyleForest さんが協働で開催されたとのこと。

米澤家住宅は東日本台風災害によって被災した長沼地区にある築 200 年の住宅です。

Hope Apple さん、（一社）しなの長沼・お屋敷保存会さんは、米澤家などの利活用や修復を通じて、コミュニティの再生や地域内外の交流を図りながら復興の取組を行っていただいているとのこと。

今回のイベントは、麦を通じて被災地支援をしている GreenStyleForest さんと協働で開催され、約 20 名の方々と米澤家の歴史を学んだり、長沼で育てた麦を活用したワークショップを行うなど、楽しく交流しながら取り組まれていました！

（GreenStyleForest さんは、被災地長沼で麦を植え育て、その麦を福祉施設でストローに加工してもらい、環境を守る取組をされている団体さんだそうです。）

こういったイベントを通じて、長沼を元気にする取り組みがたくさんの人に広まればいいなと思います！



2022.08.26

アルクマ LOVE 女性

流域治水という言葉を知っていますか？

長野県水害対策として、県と市町村、そして私たちが協力して河川の水を「流す」、「留める」、「備える」ことに取り組む「流域治水」を実施しています。

2021年には、「治水 ONE_NAGANO 宣言」を行っています。

https://www.pref.nagano.lg.jp/kasen/infra/kasen/keikaku/one_nagano.html

「ONE_NAGANO」のスローガンのもと、私たちも身近にできる防災や減災の取り組みを始めませんか？



2022.08.26

あさがお 50代 男性

長野市長沼の体育館の改修が終わったようです。

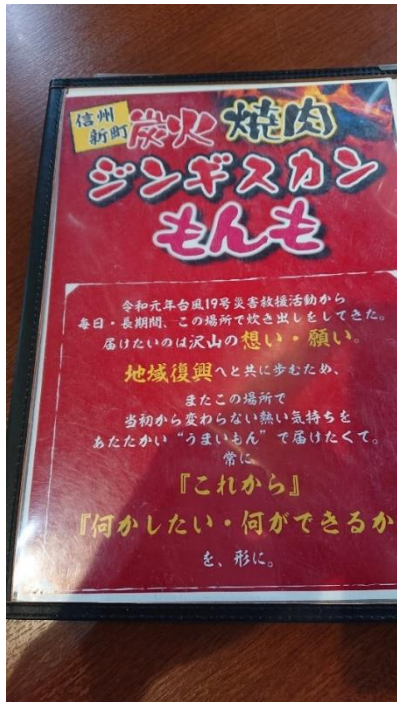
残った骨組みを補強してリニューアル。今週末の28日にはセレモニーが開かれるとのこと。スポーツの活気あふれる声が響き渡る日々が待ち遠しいですね。



2022.08.29 玉子丼 男性

長沼の千曲川河川敷に地元中学生が植えた復興ヒマワリが見頃と TV ニュースで放映されました。

堤防の様子が気になり、久々に千曲川に行き小布施町側の工事を見てきました。コンクリートブロックでしっかりと補強された堤防に生まれ変わる姿を確認。災害に耐えうるハード整備の重要性を感じました。



2022.08.30 だるま 男性

長野市長沼の国道18号沿いに復興を応援する飲食店を見つけました。

地元区長さんが命名し、頑丈な堤防がイメージされる「高台カレー」を頂きました。

自慢のマトンとチーズがアクセント。心温まる美味しい食事でお腹と気持ちを満たすことが出来ました。



2022.08.31 散歩日和 男性

長野広域連合さんでは、10/1(土)～10/2(日)に長野地域の小学生と保護者を対象にした「防災キャンプ」を行うそうです!

長野Uスタジアムで防災の知識を身につけつつ、野外の避難生活体験ができるとのこと。勉強になるだけでなく、とっても楽しそうですね。

参加申し込みは9/9(金)までのことですが、興味のある方はぜひご参加ください!

(長野広域連合さんのホームページ)

<https://www.area-nagano.jp/docs/51402.html>



2022.09.01 しるそな 女性

9月1日は災害の日。

1923年に起きた関東大震災にちなんだもので、関東大震災の教訓を忘れずに災害に備えるという意味で、制定されたそうです。

そんな日に街中を歩いてみると、「災害を知る、災害に備える」というディスプレイが。

防災と聞くと、どうしても「しっかり物品などを備えなくては」と考えてしまいがちですが、こうやって災害を知ることも防災につながるのかなと思いました。



2022.09.02 だるま 男性

うまいもの&元気シリーズの第二段です。長野市長沼で美味しいスイーツのパンを見つけました。

デニッシュの上に地元産で旬の桃をのつけたパンを買いました。普段は甘いものを食べない私でも程よい桃の甘さと美味しさに満足。持ち帰った家でも高い評価。

復興が進むなか、暑い夏に美味しい桃とパンを作る長沼の人達に感謝しつつ、次はどんな品物を買うのか、今から楽しみです。

皆さんも、休日を確認した上で、売り切れ前の早い時間に是非行ってみて下さい！



2022.09.02 MIYA 男性

坂城町では、9月1日の防災の日にあわせ、毎年8月の最終週の日曜に町の防災訓練を実施しています。

写真は8月28日(日)に行われた今年度の防災訓練の様子です。

当番地区の役員さんや自主防災会の方などが参加して、災害時の中核避難所でもある町内の中学校で、避難所運営訓練や水防訓練、応急手当訓練などが行われました。

坂城町ホームページ

<https://www.town.sakaki.nagano.jp/www/contents/1661652761563/index.html>



2022.09.04 APPLE 男性

【被災地長沼の復興大作戦！】①

Hope Apple(穂保被災者支援チーム)では、被災地長沼地区で「まちづくり」の視点から復興支援に取り組んでいます！

今年度は「ながの地域まるごとキャンパス」に参加し、「被災地長沼の復興大作戦 第二弾！」として学生さんに令和元年東日本台風の被災当時の様子を伝えたり、一緒に様々な復興支援に取り組むなど活動を行っています。

写真は、ホープアップル事務所で被災のときの様子や被災者の声を学ぶ学生さん（まるキャン参加者さん）です。



2022.09.04 APPLE 男性

【被災地長沼の復興大作戦！】②

被災現場を回って詳しい話を聞く学生さん。

案内は長沼地区区長会の松原会長さんにしていただきました！



2022.09.04 APPLE 男性

【被災地長沼の復興大作戦！】③

今回参加された学生さん方には、被災の体験をもとにした長沼地区の防災対策について、区長会長の松原さんにインタビューもしていただきました。

学生さんの学ぶ姿勢、熱意が大変素晴らしかったです！

秋には、学生さんの方力で防災の研修を実施することも企画しています。



2022.09.06 ワンティ 男性

今月の「広報しなの」の裏面が、避難時の持ち物チェックシートになっていたの、やってみました。「これはまだ用意していない！」というものもあったので、この機会に準備しておこうと思います♪

また広報誌の中に、「災害時における家庭での水の備え」は

- ・飲料水、食用水→一人当たり1日3リットル
 - ・生活用水→一人当たり1日10～20リットル
- と掲載してあり、結構貯めておく必要があるなあと思いました。

もしもの時に備えて防災意識を持っておくことが大事ですね。



2022.09.14 ちすいながの 男性

街の中を歩いていると、たまに雨水をためる貯水タンクを見かけます。

実は、これも減災の取り組みの一つになるんです。

『雨水貯留タンク』は、屋根に降った雨水を貯め、川や水路に流れ込む水を減らすことができるだけでなく、その水を植物の水やりなどに使えちゃう優れもの！一つ一つは小さいタンクですが、みんなで協力していけば、水害対策にもつながります。

長野市や千曲市など、市町村によっては雨水貯留施設の助成制度もあるとのこと。

設置した雨水貯留タンクについて、「#みんなで貯めようワンナガノ」のハッシュタグをつけて Twitter に投稿するキャンペーンも行われているようです。

https://www.pref.nagano.lg.jp/kasen/infra/kasen/keikaku/ryuiki-softtaisaku/twitter_campaign.html



2022.09.17 すいきー 男性

排水機場見学

～木島平小学校4年生のみなさん ①～

9月6日（火）、木島平小学校4年生のおよそ40人のみなさんが長沼排水機場を見学しました。

木島平小学校の4年生が見学したのは、長野市の「長沼排水機場」です。

排水機場は大雨などで増えた排水路の水をポンプで汲み上げて河川に排水し、水害を防ぐ施設です。長沼排水機場は令和元年東日本台風災害時に浸水しましたが、昨年度、復旧しました。

写真は、排水機場内のポンプや仕組みの説明について熱心に勉強する児童のみなさんです。

長野地域振興局農地整備課にて昨年度制作した、排水機場についての副教材「排水機場と排水のしくみ～低い土地の暮らし～」を活用しながら学んでいただきました。

【「排水機場と排水のしくみ～低い土地の暮らし～」はこちらからご覧いただけます】

<https://www.pref.nagano.lg.jp/nagachi/nagachi-nochi/haisuikijo.html>



2022.09.18 すいきー 男性

排水機場見学

～木島平小学校4年生のみなさん ②～

排水機場の貯水槽を見学する児童の皆さんです。

排水機場には、上流で捨てられたゴミなどが大量に流れ込んでくるため、ポンプが詰まらないようゴミを取り除いています。

排水機場に集められてしまった河川の大量のゴミなども見学していただき、みなさんびっくりしたようでした。



2022.09.20 すいきー 男性

排水機場見学

～木島平小学校4年生のみなさん ③～

長沼排水機場の近くにある水位標です。

災害時にどこまで浸水したかが分かるようになっていました。



令和元年度東日本台風災害（令和元年 10 月 13 日）には、上から2番目のポイントまで浸水があったという説明を受け、児童の皆さんは被災や復興の状況についての学びを深めるとともに、防災意識を高めていました。



2022.09.22 まちかど探検 女性

先日の『雨水貯留タンク』の投稿を見て、身近な貯留タンクを探してみたら…ありました！

写真の貯留タンクは、駐車場のルーフに貯まった雨水を流して貯められるように工夫してありました。

普段何気なく通っている道でも、実は防災・減災の備えがなされていたりします。

地域のみなさんの取組に感謝です。



2022.09.26 サステイ屋 男性

9月25日(日)に、小布施町立図書館まちとしょテラスにて「もしもの際の避難 そのときどうする?」をテーマにした「(ちょっと)未来のくらしスクール」が開催されました。

「(ちょっと)未来のくらしスクール」では、気候変動や環境破壊、そこから起こる災害について、毎回テーマごとに学んだり考えたりする場です。

今回はカードなどを使いながら、災害が起きた時の避難の仕方や避難した後の生活について話し合うなど、いざというときの避難について考える機会となりました!



2022.09.28 お茶 男性

高山村の広報に防災情報が載っていました。これからの台風シーズンに向けて、

- ① 防災情報の入手、
- ② ハザードマップの確認、
- ③ 非常時持出品の準備をと呼びかけてました。

今一度、確認しておきたいですね。



こちらの写真は、住民の安全確認と被害状況の確認の写真です。

2022.10.03 あい 男性

小川村での8月6日豪雨災害についての消防団の活躍についての紹介です。

8月6日(土)19時頃から最大で70mm/h、2時間半で120mmもの大雨が降りました。今まで経験したことのない大雨で、急傾斜の多い小川村では災害が多発しました。

翌日7日(日)には、各消防団員が招集され、住民の安全確認と被災箇所の応急処置(土のう設置)などを行いました。被害は甚大で、村道が土砂崩落により寸断された箇所がありましたが、地元建設業者の努力もあり、復旧作業が早急に進みました。

まだ、本格的な復旧は時間がかかりますが、ONEチームとなり、復興へ向け前進していきましょう！



2022.10.04 あい 男性

小川村での8月6日豪雨災害についての消防団の活躍についての紹介です。

こちらの写真は、河川土砂が住宅へ流入した住宅の土砂を撤去している活動写真です。重機だけではできない場所を、消防団員が手作業で片づけをしました。



2022.10.06 door 男性

防災キャンプ①

10月1日（土）から2日（日）かけて、南長野運動公園のUスタジアムで長野広域連合主催の「長野地域子ども元気プロジェクト事業『防災キャンプ』」が行われました。

当日は約 30 組の親子の皆さんが参加。

写真は、防災講習会のようすです。令和元年東日本台風災害の被災当時の様子などについて説明があったほか、「おいしい災害食」というテーマの講演もありました。

昨今は、災害時の非常食も、体にやさしいスープなど「あったかくてほっとできる」ものがたくさん開発されているそうです。たしかに、被災して避難所で不安に過ごしているなかでそういった食べ物で心身ともにあたためるのは大事なことだと思いました。

過去の被災や防災についての知識をあらためて知っておくことが、有事の際にあわてず行動できるようになることにもつながるのでは感じました。



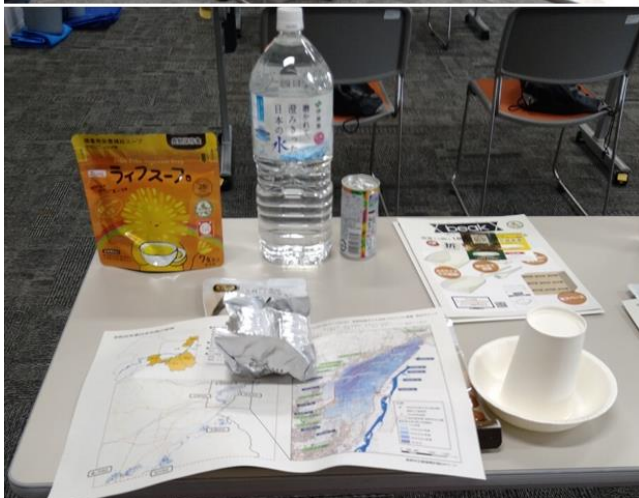
2022.10.06 door 男性

防災キャンプ②

続きです。

こちらは防災テント組み立ての様子です。このあと実際に非常食の調理をし、宿泊しました。

楽しみながら防災意識を高める良い機会になりました！





2022.10.07

びっぐぼんどフェス実行委員会 40代 男性

9月24日(土)、千曲市役所こもれびテラスを会場に「びっぐ ぼんど フェス 2022」が開催され、多くの方にご来場いただきました。

クラフト作品の展示販売や飲食物販売ブースなどをメインとしながら、防災についても学んでいただくことを目的に、水が出るタイプの消火器体験や、万一の際の電源確保の大切さを知っていただくブースも出展しました。

また、自衛隊のご協力もいただき、自衛隊車両や災害救援活動などのパネルを展示していただきました。

イベントを通じて人とのつながりと防災の意識が芽生えてくれたらうれしいです。

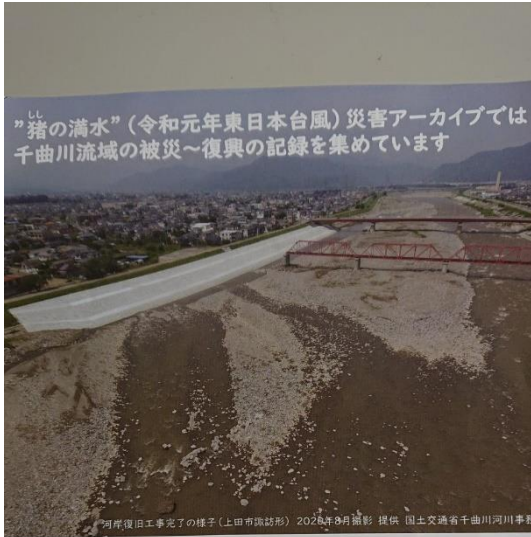


2022.10.11 ロッキー 30代 男性

10/5に長野地方部(長野管内の県組織)の防災訓練を行いました。

普段から「誰が、何を、どこで、どうするか」をイメージし確認しておくことが大事だと改めて認識しました。いざという時に備え、災害に対する組織の対応力をさらに高めていけるよう努めていきます！

皆さまも、家具の固定や備蓄品の準備など出来ることから防災対策を進めていきましょう！
また今一度、災害時の行動について是非確認してみてください。



”猪の満水”（令和元年東日本台風）災害アーカイブでは千曲川流域の被災～復興の記録を集めています

協力者募集!

**ぜひ一度ご覧ください。
また、ご協力いただける方を募集しています。**

災害直後の様子、避難所での様子、ボランティア経験、仮設住宅での生活経験など、災害直後、復旧期、復興期の貴重な体験を生かして残します。地域の未来や防災力向上に資するために、多くの方のご参加とご協力をお待ちしております。

写真のご提供やインタビューにご協力いただける方は、下記の信州大学までご連絡ください。
※提供いただいた写真やインタビューについては、長野県・長野市・信州大学で情報を共有いたします。

◀サイトQRコードはこちら▶
 アーカイブサイトHPはこちらのURLから検索▶ <https://chikuma-archive.shinshu-bousai.jp>
 <お問い合わせ>
 長野県 危機管理部 危機管理防災課 Tel: 026-235-7184
 長野市 総務部 危機管理防災課 Tel: 026-224-5006
 信州大学 教育学部 廣内研究室 Tel: 026-238-4087 Email: kumoken@shinshu-u.ac.jp

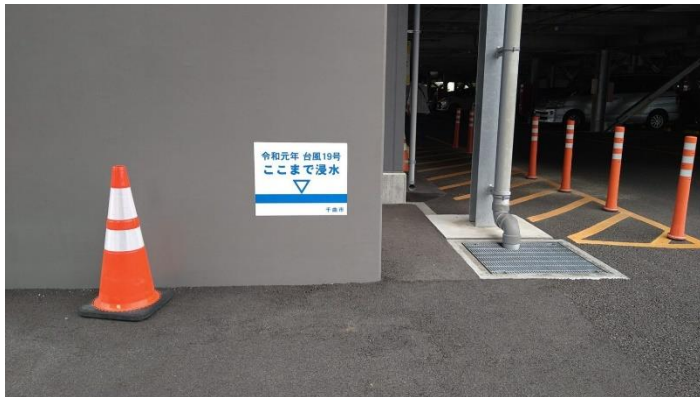
長野県 長野市 信州大学

2022.10.13 ぶどう 男性

台風 19 号災害から 3 年。

東日本台風災害から学ぶことはたくさんあります。

多くの人に、後世の人に、記憶と記録を伝えていくことも私たちに出来る復興対策です。



2022.10.14 M.K 男性

令和元年東日本台風災害から 3 年。

千曲市役所の立体駐車場には当時の浸水位置が記録されています。

あの日のことを忘れないことが大切ですね。。



被災当日



最近の状況

2022.10.16 M.K 男性

令和元年東日本台風災害からちょうど3年ということで、被災直後に撮った千曲市内の写真と、同じ場所の今の写真を撮影してきました。(その1)

これは千曲市役所周辺の写真です。市役所前交差点も冠水するなど周辺住宅には大きな被害がありました。

多くの人の力により、災害が起きたことすら感じさせないような姿に復旧しましたが、復興に尽力いただいたみなさんへの感謝は忘れません。。



被災当日



最近の状況

2022.10.16 M.K 男性

被災直後に撮った千曲市内の写真と、同じ場所の今の写真を撮影してきました。(その2)

これは千曲市役所立体駐車場の写真です。

多くの車が浸水し、被災したのを今でも覚えています。

当時のことを思い出すと、今日の生活は当たり前のことではないのだと痛感します。



被災当日



最近の状況

2022.10.16 M.K 男性

被災直後に撮った千曲市内の写真と、同じ場所の今の写真を撮影してきました。(その3)

千曲川の写真です。

美しい景観と大きな恵みを私たちに与えてくれる、豊かな千曲川。しかしながら、台風災害直後は増水した河川が堤防を覆い、危険な状況をもたらしました。

現在はたくさんの方の力により下の写真のように復旧し、市民のお散歩道として再び利用されています。



災害当日



最近の状況

2022.10.16 M.K 男性

被災直後に撮った千曲市内の写真と、同じ場所の今の写真を撮影してきました。(その4)

千曲川に架かる千曲橋の写真です。

災害当日は、堤防のみならず橋をも壊すすさまじい勢いでした。

災害時にはこういったリスクもあるのだと、普段から把握しておくことが本当に大事だと思います。



2022.10.17 だるま 男性

長野市役所で開かれている東日本台風災害関連の展示に 110 年前に起きた千曲川の水害エリアの地図があり、興味深く見させてもらいました。

昔から水を治める者は国を治めるというように、治水は住民の命と財産を守る重要な取組だと改めて感じました。

異常気象が多発する昨今、迅速かつ完璧な対策は難しいですが、過去から学び、それを未来につなげていくことは私たちに来ることの一つだと思います。

また、このような展示会開催の意義も感じました。



2022.10.17 TSUDOI 女性

10/12 (水) に開催された
「“猪の満水”災害デジタルアーカイブ
報告会—令和元年東日本台風から3年—」
をオンライン視聴しました！

県が実施するデジタルアーカイブ事業や防災の取組みについて説明があったほか、阿部知事からも避難所生活の改善・向上についての取組みなどについてのお話を聴くことができました。

被災時でもTKB（トイレ・キッチン・ベッド）を中心に、できる限り普段通りの生活ができるようそれぞれの機能を向上させるよう取り組んでいるそうです。また、障がい者や高齢者の方は施設に避難するなどの対応を迅速に行えるよう体制を整備しているという話もあり、どちらも非常に大事なことだと感じました。

「地域の復興のすがた」を一つのテーマとして、「松代復興応援実行委員会」さんや「穂保希望のつどい実行委員会」さんによる地域における復興の取組みの事例紹介などもありましたが、被災時の様子やこの3年間の復興の軌跡はもちろん、被災の経験を生かした防災活動など現在の活動についてもお話しがあり、非常に勉強になりました。

【“猪の満水”災害デジタルアーカイブ】

<https://chikuma-archive.shinshu-bousai.jp/>



2022.10.17 KAMAYA 40代 男性

長野市役所 1 階市民交流スペースで開催されている「災害アーカイブ展」を見ってきました。

令和元年東日本台風により被災した当時の浸水写真から、現在の復旧・復興の様子がわかるパネルが、地区ごと展示されていました。

3年が経過し、被災当時の記憶が薄れてきていますが、「災害に備えることの大切さ」についてあらためて考えるよい機会となりました。



2022.10.25 BLUESKY 女性

10/22～23 に開催された「アウトドアライフスタイル&防災フェス in 須坂」に行ってきました！

災害時にも役立つようなアウトドアグッズを見て回れたり、「空き缶でアルコールストーブづくり」など災害時に役立つワークショップも開催されていて、勉強になりました。

気持ちのよい青空のもと、臥竜公園の百々川緑地をのんびり歩きながら須坂の特産品や雑貨を売っているマルシェを見たり、キッチンカーで美味しいものを買ったりすることもできて楽しかったです。



2022.10.28 ぱっしー 男性

旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクトでは、これまで令和元年東日本台風災害で被災した松川河川敷の復興に取り組んできました。

本日10月28日(金)は、旭ヶ丘小学校6年生のみなさんに自然勉強会でこの松川河川敷のこと、千曲川のこと、旭ヶ丘地域のことを学んでもらいました。(かえるむのクリアファイルも配りました!)

勉強会の後は、今年度の復興の取組のひとつである河川敷への芝の植え付けをプロジェクトのメンバーと一緒に行いました。

芝を植える予定の広いスペースは、小学生のみなさんの手であつという間に芝でいっぱい!プロジェクトのメンバーといっしょに、青空の下、「おもしろい!」「楽しい!」という明るい声を河川敷に響かせながら取り組んでくれました。

台風で被災した河川敷ですが、地域みんなの手で少しずつ少しずつ、復興が進んできています。きれいに芝がそろうのも、そこでイベントなどをみんなで楽しむのも今からとても楽しみです。



段ボールベッド

災害用トイレ



保存食

保存水

2022.11.14 さくら 30代 男性

先日、避難所の環境改善に関する設備の実演講習を受けました。

避難所では、TKB(トイレ、キッチン、ベッド)が課題となっており、特にトイレが不便になるとモラルがなくなり、不衛生になるということがあるとのことでした。

また、ざこ寝だと感染症などの感染リスクが高まるそうです。

避難所での大変さ、緊急時の設備の大切さを改めて学びました。

我が家にも災害用トイレはあってもよいかなと思い、購入検討しております! 備えあれば患いなしです。



2022.11.14 joe 男性

排水機場見学

～塩崎小学校5年生のみなさん ①～

11月9日(水)、塩崎小学校5年生のみなさん約30名が、小学校近くの塩崎排水機場を見学しました！

排水機場は大雨などで増えた排水路の水をポンプで汲み上げて河川に排水し、水害を防ぐ施設です。

写真は、ポンプが詰まらないようゴミを取り除く「除塵機」の稼働を見学する児童のみなさんのようすです。



2022.11.14 joe 男性

排水機場見学

～塩崎小学校5年生のみなさん ②～

写真は排水機場内で地域の方からお話を聞く児童のみなさんです。

ポンプを一台稼働してもらい、その音の大きさにもみなさんびっくりしたようでした。

塩崎排水機場は地域の方が管理人となり、大雨・台風などの際に対応してくれています。

「一番、排水機場の稼働が大変だった時はいつですか。」といった生徒さんからの質問には「最近では令和元年東日本台風災害の時です。排水機場の機能がそこなわれることはありませんでしたが、建物内は30センチほど浸水しました。」との回答が。また、「河川が危険な状況でなくなるまで、管理人たちは24時間体制で排水機場で対応します。」とのこと。

こういった施設や地域の方々の力により、市民の安全な生活が守られているのだということを見学した児童のみなさんに学んでもらえた1日となりました。



2022.11.23 もに 女性

11/23(水)に開催された地域づくり講座「協働を改めて考える～ぼくらの協働を探す旅に出かけよう!!～」に参加してきました。

互いを知り、理解し合い、ともに課題を解決するには何が必要か？ 誰と協働するのか？ といった観点で学びを深めるいい機会となりました。

「地域課題」に対して「協働」という観点で考えるワークショップのテーマのひとつとして「災害支援」についても考えました。

- ・様々な団体、企業、学校、地域（自治会）、行政との協力が不可欠！
 - ・被災時の対応や防災知識の認知拡充を図り、地域防災力の向上を
 - ・平時からコミュニケーションをとりながらゆるやかにつながるネットワークを構築しておくことが、有事の際の迅速な協力につながる
- などの意見やまとめを聞いて、非常に勉強になりました。

たしかに、災害が起こってしまったときに、みんなが有事の際に急につながるのはなかなか難しいですね。助け合うのはなおさら大変だと思います。

でも、普段からゆるくつながって、互いの役割や必要なことを確認しておいたり、気に掛け合って大変な時に助け合えるようにしておけば、非常時でも助け合える。

物資や人手のようなリソースはもちろんですが、互いに頼りあえるような「心強い」と感じられるネットワークが、有事の際には大きな支えとなってくれるのかなと思います。

一人では乗り越えられない非常事態だからこそ、個人での備えに加えて、地域での備えや「協働」が大事ですね！

災害時の「備え」について、あらためて考える1日となりました。



2022.11.29 ちくま 20代 男性

長野県千曲市で3年ぶりに「千曲市更埴地区文化祭」が開催されました。

会場となった「信州の幸あんずホール」は、台風19号で被災し、復旧作業が勧められています。

また完全復旧にはなっていないらしいですが、展示や発表の場として復活しています。



2022.12.01 女性

社会の中で浸透しつつある防災グッズ。最近はホームセンターを中心にまちのお店で見えることも増えました。

買っておくだけでなく、時々中身をチェックするのも大切です。

例えば、非常食などの賞味期限。ちょうど3年前に買った防災バックにあったレトルト食品がもう少しで切れそうだったので、入れ替えました。



2022.12.06 女性

長野市で台風19号の復興イベント「ながとよマルシェ」が開催されました！

被災した「デリシア・ユーパレット赤沼店」の駐車場が会場で、まちの防災に関わるさまざまな人が連携して、復興の次段階である『地域を盛り上げる活動』の一環として実施されました。

長沼・豊野・その他の地域の復興を応援し、他支援団体様や行政と連携を続けていくことで、まちの防災の意識が高まりますように。

2022.12.08 HAKKO-LOVE 男性

台風19号で被災した、地域のみそ屋さん・長沼の小川醸造場のみそを復活させることで、地域を元気にしようとスタートした「キセキのみそ復活プロジェクト」。

小学校や地域の方々と一緒になって取り組んだ3年間の活動を振り返るイベントとなっています。





2022.12.12 olioli 男性

みなさん、「折り紙食器」はご存知ですか？

保管時は1枚の紙、非常時には切り取って、折り紙のように組み立てるだけで食器に早変わり！な防災グッズです。

ご飯を盛ったり、水を汲んだりもできる耐久性。少し備えておくと、なにかと便利です。（キャンプなどでも使えるそうです。）

こちらは使い捨てタイプなのですが、モノによっては繰り返し洗えるものもあるとのこと。かさばらず保管でき、災害時にスッと持ち出せるのはとてもいいなあと思いました。

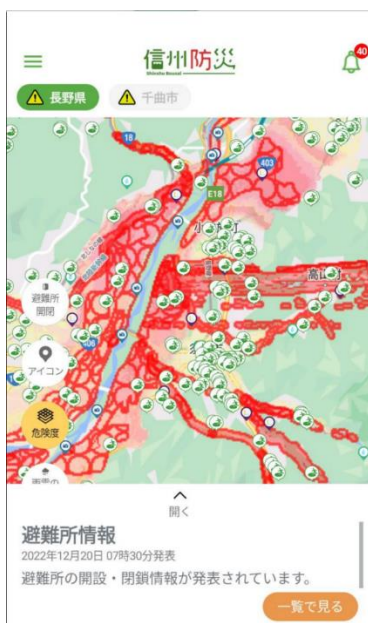


2022.12.13 ちゃりー 男性

台風19号から3年が経ち、当時決壊してしまった篠ノ井の堤防が復旧していました。

朝には災害前のように自転車で通勤通学をする人も。

今までと同じようになってきた安心感と、この災害を忘れずに備えていかないと…そんなことを感じました。



2022.12.15 男性

信州防災アプリって知っていますか？
長野県が運用しているこのアプリ、災害時の情報だけでなく防災にも役に立ちます！

それぞれの災害時に危険な場所や避難所の場所も教えてくれる優れたもの。まずは自分が住んでいる地域の危険度を知ることから初めてみましょう。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/shinsyubosai.html>



2022.12.20 看護師 男性

もし災害があった時に備える減災の活動を行なっている「減災ナースながの」についての紹介です。

医療関係者だけでなく、地域の方々が災害時の医療を支える意識を高めるため、公演などの活動を通して活動を行なっています。災害のときに大切な誰かを守るよう、みんなで取り組みたいですね。



2022.12.22 ママさん 女性

災害時に大切なものの一つである「水」。防災における水の必要量は、1人あたり1日3リットルが目安です。量が多いと感じますが、飲む以外にカップラーメンのお湯を沸かしたり食品を茹でるなど、食事に必要な水分を含めた量とのこと。

備えている水の量って大丈夫かな？と思った方は、今一度チェックしてみてくださいね。



2022.12.22 しまちゃん 男性

10/22の全日本距離別選手権大会へ小平奈緒さんのラストレースを応援に行ってきました。結果は見事、女子500mで優勝！レース後には引退セレモニーも行われ、とても感動的な時間となりました。

セレモニー終了後、小平さんより会場の皆さんへサプライズプレゼントとして、被災地農家さんのりんご1000個が子ども達を中心に配布され、我が家も1ついただきました。



また、りんごと一緒に同封されていた【NAO NOTEBOOK】には、りんご狩りができる農家さんのマップなども載っていて、とても感心しました。以前から小平さんが被災地への支援活動を行っている話は聞いていたので、継続されていて素晴らしいな~と思いつつ、ますます心がほっこりしました。

小平さん長い競技人生大変お疲れ様でした。これからも新しいステージでのご活躍を応援しています。

私も、できることから被災地の応援や復興支援をしたいと思いました。



2022.12.28 ペンギン 男性

先週は日本各地で豪雪があり、大きな被害がありました。

みんなで命を支えあう一助として、家族が集まる年末年始にお子さんと防災カードを作成するなど、情報共有を図るのはいかがでしょうか。



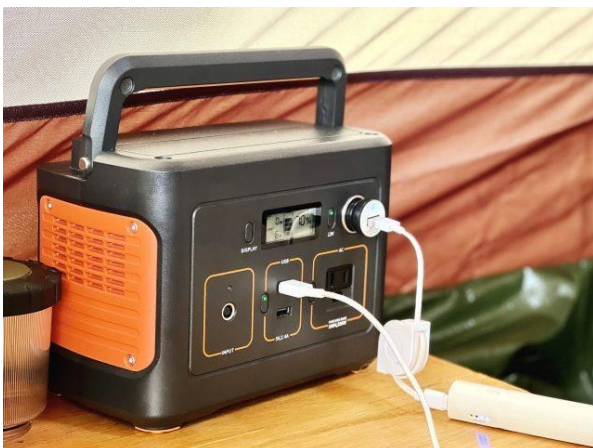
2023.01.16 買いもの主婦 女性

これ、実はトイレなんです！

買い物を行った時に、携帯トイレがあり、気になって購入してみました。

持ち運びも簡単にできるので、車の中に入れておけますし、家の中にあっても安心。

こういう無理のないところから備えていきたいです。



2023.01.17 キャンパー男子 男性

災害時にライフラインが止まってしまった時の電源問題は！？という時におすすめなのが、ポータブル電源。

アウトドア用品として使われることも多いですが、災害時にはスマホの充電や一時的に電子レンジや電気ケトルが使える心強い味方に。



2023.01.19 いちごらぶ 男性

被災にあったあぐり長沼さんがやっている、いちご狩りに行ってきました！

施設の方から伺った時に、この施設も半壊になってしまったと伺いました。

「このままこの地区の農業を衰退させるわけにはいかない」との思いから、ボランティアの方々やクラウドファンディングの力を借りながら活動としていちご狩りを起こっているそう。

復興だけでなく、地域の人が集まる場所となる素敵な場所でした。

いちごも甘くて美味しかったです！



2023.01.25 すまっと 男性

"信州防災アプリって知っていますか？

長野県が運用しているこのアプリ、災害時の情報だけでなく防災にも役に立ちます！

それぞれの災害時に危険な場所や避難所の場所も教えてくれる優れたもの。まずは自分が住んでいる地域の危険度を知ることから初めてみましょう。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/bosai/shinshubosai.html>"

2023.01.27 学 男性

信州大学 | 地域防災減災センター

トップ センターの紹介 お知らせ イベント・活動報告 研究成果など

お問い合わせ

交通アクセス

地域で防災 暮らしで減災

災害防止の研究知を地域に還元するだけでなく、災害発生後の生活を日常に近づけるための方策を発信します。

防災減災教育部門
公開講座や公演、シンポジウムなどを通して社会性大学における防災教育の充実と、地域防災を牽引する人材育成を目指します。

地域連携部門
学外の防災組織・機関との連携を強化し、防災情報ネットワークの構築運用や災害時の相互協力の拡充を行います。

防災減災研究部門
総合大学の強みを活かして、自然災害をはじめ、災害に対する社会意識・災害文化・組織人間行動など幅広い防災科学研究を行います。

医療支援部門
高度救急救命センターを中心に、DMAT(災害派遣医療チーム)の活動をはじめとした救急救命医療活動・災害派遣医療を推進します。

信州大学 地域防災センターのHPは見たことありますか？

「地域で防災、暮らしで減災」をコンセプトに、研究機関で得られた研究知を地域に発信するだけでなく、災害が起きた後の生活を日常に近づけるための方策を発信しているサイトが公開されています。

防災減災教育、地域連携、防災減災研究部門、医療支援部門の4つの部門にごとに行われているイベントや情報が紹介されています。

自然災害が頻発する信州の地で、信州大学は地域の専門家集団として、さまざまな災害の調査研究、防災減災教育に積極的に関わってきました知見をから防災減災を学んでいきたいですね。

<https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/bousai/index.html>



2023.01.30 ながぐつを履いた猫 男性

枕元など普段生活する部屋に避難用の靴って置いてありますか？

震災時でモノが散乱していたり、ガラス片がある場合もあり、裸足だと足を怪我する恐れがあります。そんな時に足元を守る靴や靴氏はかなり便利なアイテムです。スニーカーを部屋に置いおく、それが難しくても靴下をいつでも履けるようにしておくだけでも防災です。防災は足元から！



2023.02.09 りんご 男性

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしました。大地震が発生したときには「家具は必ず倒れるもの」と考えて、転倒防止対策を講じておく必要があります。

そのため、家具が倒れても避難しやすいレイアウトにするなど…といっても大変なので、我が家は家具の下にストッパーをつけました！少しは安全になると良いなあ



2023.02.25 ミシン 男性

先日、長沼地区を国土交通大臣が現地視察に来られたとのこと。

河川防災ステーションの整備も、文化財調査など手順を重ね、一步一步前に進んでいます。



2023.02.25 ミシン 男性

長野県立美術館を訪れ「発見された日本の風景」高野光正コレクションを見てきました。明治時代の日本各地の風景や暮らしが描かれた 286 点もの作品を観賞し、日本の山河の美しさを改めて認識しました。

時代とともに人の営みや風景は変わりますが、いつまでも平和で安心な世の中であってほしいとしみりと感じました。



2023.02.25 アイスマン 男性

長野市長沼の千曲川堤防に行ってきました。夏場には堤防を覆っていた補強ブロックが芝で覆われ、復旧工事が大分進んでいるようです。

大切な堤防工事が一日も早く完成するのを待っています！

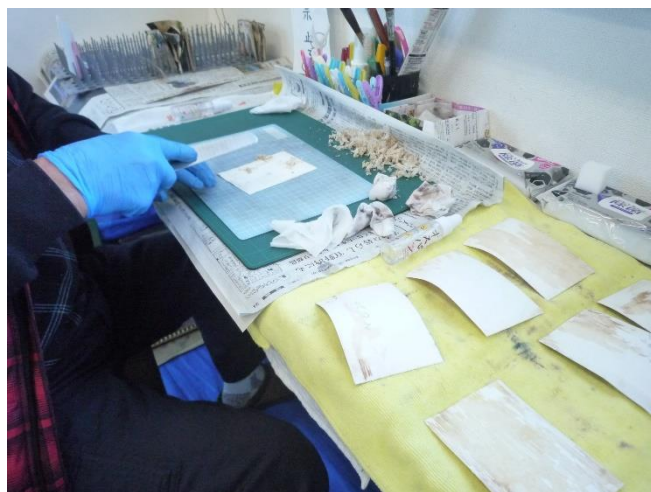


2023.03.08 さわやかりんご 男性

【写真洗浄ボランティア①】

先日、(特非)災害共生支援機構 from さんの活動のひとつである「写真洗浄ボランティア」のようすを見学させていただきました。

令和元年東日本台風災害の被災者の方々から依頼を受け、アルバムごと借りて写真洗浄を行っているとのこと。今は、長野市更北公民館で週に数日集まり、活動されているとのこと。ボランティアのみなさんは、だいじな思い出もよみがえるように、浸水被害等で汚れてしまった写真をていねいに洗浄、消毒しておられました。



2023.03.09 さわやかりんご 男性

【写真洗浄ボランティア②】

つづきです。

写真洗浄といっても、もちろん洗浄だけが作業ではありません。

アルバムからはがす⇒洗浄して乾かす⇒水分や汚れ、糊など、カビの素となる部分を削り取る等して除去⇒アルバムもきれいにして、写真を元に戻す⇒持ち主に返却といった流れで、1冊のアルバムを洗浄するのに、とても時間がかかるのです。

また、少しでも汚れが残っているとそこからカビなどが広がっていくため、本当にていねいな作業が必要とのこと。

作業や、洗浄中の写真を見学させていただきましたが、どの写真もひとりひとりの方の思い出がつまった大事なものだということが一目でわかる写真ばかりでした。洗浄のために多少は印刷面が削れてしまうけれど、また見返すことができる形で手元に戻していただけるのは、持ち主の方にとってもほんとうに嬉しいことだろうなと思います。

こういったボランティア活動を続けてくださる方がいらっしゃることに本当に感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。

このような取組を、もっと多くの方に知ってもらえたらいいなと思います。



2023.03.21 ROD 女性

有事の際に備えて、キャビネットに転倒防止対策をしました！

目に入ることで普段から意識するようになるので、防災意識も高まった気がします。

2023.03.21 りんどう 30歳-39歳 男性



消防吏員、消防団員又は消防教育職員として25年以上勤続し、成績優秀で他の模範となると認められる者が表彰の対象となる「永年勤続功労章」の管内受章者への伝達式が3月15日（水）、長野合同庁舎にて行われました。

25年以上もの長きにわたり、私たち地域住民の生命・財産を守るために、日夜献身的にご尽力されてこられたことに感謝するとともに尊敬の念を抱きました。

私たちも災害に備える、火災をおこさないことに留意して日々過ごしていきたいですね。

